

第4編

予算・決算

第1章 道民会議事業の予算・決算

北海道洞爺湖サミット道民会議の事業期間は平成19年度と20年度の両年度にまたがることから、事業総収支決算は両年度の決算の総額となる。

道民会議の財源は、規約により、負担金、寄附金及びその他の収入をもって充てることとなり、その割合については、道負担金と民間寄附金が1対1を基本とすることとなった。

両年度の総事業費を当初は1億2千万円で見積もり、道負担金6千万円、民間寄附金6千万円の資金計画となった。

その後、企画運営部会の中のワーキングにおいて、サミットを契機とした効果的な事業展開について検討を行い、その事業のためにさらに寄附金を募ることとし、20年度の事業計画策定時においては、道民会議の総事業費を3億3,980万円で見積もり、道負担金6,500万円、民間寄附金2億

7,480万円の資金計画となった。

民間寄附金については、要綱を定め、経済・産業団体が中心となって募金活動を行い、募集期間を平成19年12月12日から平成20年7月31日までの約7ヶ月半とした。

寄附金の使途としては、道民会議事業に充てることとし、具体的には、北海道が道民会議に対し支出する負担金の一部に充当するため、北海道への寄附とした。

寄附金の受入については、道一般会計歳入予算に計上し、歳出予算において、寄附金分も含めた道民会議負担金として計上された。

最終的に、寄附金は2億8,730万円となり、道民会議の事業規模は3億5,368万円となった。道民会議の、平成19年度、平成20年度の収支決算額及びその総計の収支決算額は、次の各表のとおりである。

平成19年度収支決算

(単位：円)

区 分	平成19年度予算額 A	平成19年度決算額 B	差額A-B	備 考	
収 入	1 道負担金	60,000,000	60,000,000	0	
	(1) 道負担分	30,000,000	30,000,000	0	
	(2) 民間寄附金見合	30,000,000	30,000,000	0	
	2 その他収入		1,080,000	△1,080,000	
合 計	60,000,000	61,080,000	△1,080,000		
支 出	1 開催支援	2,700,000	651,410	2,048,590	
	2 北海道発信	46,800,000	23,337,103	23,462,897	
	3 おもてなし	1,500,000	151,880	1,348,120	
	4 未来	300,000	1,639,304	△1,339,304	
	5 道民会議開催費	500,000	30,760	469,240	
	6 事務局運営費	8,200,000	8,119,996	80,004	
	7 道民会議連携事業費		11,917,404	△11,917,404	
合 計	60,000,000	45,847,857	14,152,143	不用額	
収 支 差	0	15,232,143		次年度繰越	

平成 20 年度収支決算

(単位：円)

区 分	平成 20 年度予算額 A	平成 20 年度決算 見込額B	差額A－B	備 考	
収 入	1 道負担金	279,800,000	292,356,582	△ 12,556,582	寄附金増による収入増
	(1) 道負担分	35,000,000	35,058,000	△ 58,000	
	(2) 民間寄附金見合	244,800,000	257,298,582	△ 12,498,582	
	2 その他収入		240,000	△ 240,000	
	3 繰越金	7,900,000	15,232,143	△ 7,332,143	
合 計	287,700,000	307,828,725	△ 20,128,725		
支 出	1 開催支援	44,600,000	28,387,605	16,212,395	不用額
	2 北海道発信	74,900,000	50,875,110	24,024,890	
	3 おもてなし	600,000	57,550	542,450	
	4 未来	35,400,000	40,139,448	△ 4,739,448	
	5 道民会議開催費	500,000	144,585	355,415	
	6 事務局運営費	31,700,000	18,013,017	13,686,983	
	7 道民会議連携事業費	100,000,000	89,153,819	10,846,181	
合 計	287,700,000	226,771,134	60,928,866		
収 支 差	0	81,057,591			

※決算見込額は、11月25日現在。

総収支決算

(単位：円)

区 分	総予算額 A	平成 19 年度 決算額B	平成 20 年度 決算見込額C	総決算見込額 D = B + C	差額A－D	
収 入	1 道負担金	339,800,000	60,000,000	292,356,582	352,356,582	△ 12,556,582
	(1) 道負担分	65,000,000	30,000,000	35,058,000	65,058,000	△ 58,000
	(2) 民間寄附金見合	274,800,000	30,000,000	257,298,582	287,298,582	△ 12,498,582
	2 その他収入		1,080,000	240,000	1,320,000	△ 1,320,000
3 (繰越金)	(7,900,000)		(15,232,143)	(15,232,143)	(0)	
合 計	339,800,000	61,080,000	292,596,582	353,676,582	△ 13,876,582	
支 出	1 開催支援	47,300,000	651,410	28,387,605	29,039,015	18,260,985
	2 北海道発信	121,700,000	23,337,103	50,875,110	74,212,213	47,487,787
	3 おもてなし	2,100,000	151,880	57,550	209,430	1,890,570
	4 未来	35,700,000	1,639,304	40,139,448	41,778,752	△ 6,078,752
	5 道民会議開催費	1,000,000	30,760	144,585	175,345	824,655
	6 事務局運営費	32,000,000	8,119,996	18,013,017	26,133,013	5,866,987
	7 道民会議連携事業費	100,000,000	11,917,404	89,153,819	101,071,223	△ 1,071,223
合 計	339,800,000	45,847,857	226,771,134	272,618,991	67,181,009	
収 支 差	0	15,232,143	65,825,448	81,057,591		

北海道洞爺湖サミット道民会議の総事業費2億7,262万円の内訳は次のとおりである。

【開催支援】 29,039千円 インフォメーション機能の整備 住民への情報提供 公式行事に伴う歓迎交流 各国政府関係者視察への支援 各国首脳等と道民との交流 弁当供給センター運営費 歓迎バナー	【未来】 41,779千円 ガイアナイトの実施 J8サミットにおける交流 マータイ氏との対談 サンクスメッセージの発信等 サミット展の開催 記録誌の作成
【北海道発信】 74,212千円 プレスツアーの実施 北海道情報館の開設 国際メディアセンター、北海道情報館オープニングレセプション アウトリーチ諸国等の歓迎交流 G8大学サミット歓迎交流 Yôkoso! HOKKAIDO PASSの発行	【事務局運営費等】 26,308千円 総会・役員会会場使用料 関係機関連絡調整等の旅費 事務用消耗品費 事業計画等印刷費 電話、送料等の役務費 連絡車両借上料 複写機使用料
【おもてなし】 209千円 環境美化活動の推進 道産食材の利用促進PR	【道民会議連携事業費】 101,071千円 環境総合展2008 花いっぱいお迎えプロジェクト 北海道フットパス事業 空き店舗 冬まつり等イベントPR

残余財産(備品)一覧

名称	数量	帰属先
道民会議角印(会長印、出納員印)	各1	廃棄
サミット展 展示関係物品		
展示用パネル	89枚	北海道
パーテーション	20組	
七タバックパネル	一式	
七タ・竹笹ディスプレイ	一式	
アクリルケース	8台	
パーテーション用梱包箱	3台	
パーテーション脚用梱包箱	2台	
七タパネル用梱包箱	1台	
議長記者会見バックシート	1枚	
議長記者会見演台	1台	
アイヌ記念撮影バックシート	1枚	
Geoアート「洞爺湖」(パノラマ地図)	1枚	

第2章 行政事業

サミット関連事業は、道民会議事業のほかに、行政の事務事業として行われた事業もある。

道が取りまとめた一般会計予算計上のサミット関連予算(広義のサミット関連予算)は全部局で、平成19年度が2億3,582万円、平成20年度が19億8,791万円の総額22億2,373万円となっている。

サミット推進局の受入体制の整備等に要する経費のほか、警備関係経費や消防救急・保健医療体制整備費、サミットを契機とした観光関連事業がその主な事業となっている。

財源内訳は、国庫補助金等が6億7,758万円、一般財源15億4,615万円となっている。

サミット推進局で計上された経費に限定して予算状況を見ると、平成19年度が8,870万円、平成20年度が3億6,002万円となっており、両年度計で4億4,872万円となっている。

このうち、道民会議への負担金が3億5,236万円となっており、負担金以外の行政で直接執行する経費は9,637万円である。

平成19年度収支決算

(単位：千円)

区 分	平成19年度予算額 A	平成19年度決算額 B	差額A-B	備 考
歳出				
款) 知事政策費				
項) 北海道洞爺湖サミット推進費				
目) 北海道洞爺湖サミット推進費	88,701	86,090	2,611	
1 道サミット推進局費	28,701	26,090	2,611	
(1) 国会等現地視察対応	8,190			
(2) 消防・救急医療調整	2,888			
(3) 関係支庁連絡調整	173			
(4) ドイツサミット参加	4,434			
(5) 一般事務費	13,016			
2 道民会議負担金	60,000	60,000	0	
歳入				
款) 寄附金				
項) 寄附金				
目) 知事政策費寄附金	30,000	167,414	△137,414	

平成 20 年度収支予算 (単位：千円)

区 分	平成 20 年度予算額
歳出	
目) 北海道洞爺湖サミット推進費	360,023
1 道サミット推進局費	67,666
(1) 国会等現地視察対応	10,563
(2) 消防・救急医療調整	678
(3) 関係支庁連絡調整	1,962
(4) 現地事務所設置・運営	21,402
(5) 各国首脳・市町村交流支援	27,064
(6) 一般事務費	5,997
2 道民会議負担金	292,357
歳入	
目) 知事政策費寄附金	194,700

平成 19～20 年度収支予算 (単位：千円)

区 分	総予算額
歳出	
目) 北海道洞爺湖サミット推進費	448,724
1 道サミット推進局費	96,367
(1) 国会等現地視察対応	18,753
(2) 消防・救急医療調整	3,566
(3) 関係支庁連絡調整	2,135
(4) ドイツサミット参加	4,434
(5) 現地事務所設置・運営	21,402
(6) 各国首脳・市町村交流支援	27,064
(7) 一般事務費	19,013
2 道民会議負担金	352,357
歳入	
目) 知事政策費寄附金	224,700

北海道洞爺湖サミット推進費のうち行政で直接執行する経費総額 9,637 万円の内訳は次のとおりである。

【国会等現地視察対応】 18,753千円
関係機関との調整旅費
来道時の打合せ等会場使用料
【消防・救急医療調整】 3,566千円
関係機関との調整旅費
打合せ会場等使用料
【関係支庁連絡調整】 2,135千円
現地連絡調整旅費
消耗品費
複写機使用料
【ドイツサミット参加】 4,434千円
調査及び関係機関調整旅費
【現地事務所設置・運営】 21,402千円
現地事務所滞在等旅費
事務用消耗品
連絡車両借上料
電話、送料等の役務費
現地事務所備品等借上料
【各国首脳と市町村との交流支援】 27,064千円
交流事業に伴う会場設営費
交流事業会場借上料
【一般事務費】 19,013千円
事務補助員賃金・共済費
関係機関調整等の旅費
事務用消耗品費
事業計画、封筒等の印刷製本費
電話、送料、翻訳等の役務費
複写機使用料
連絡車両借上料